

## 治療道具作成② 訓練用道具

OT学科2年生が作成した作品です！！



<b>商品名:</b>	ボタンde言葉遊び
<b>グループA:</b>	
<b>項目 対象</b>	<b>内容</b> 高齢者(軽度認知症レベルまで)
<b>材料</b>	・くるみボタン52個・布・画用紙2枚・マジック・ラミネート紙
<b>費用</b>	990円
<b>作成のポイント</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ひらがなをクルミボタンに書くことで、つかみやすくした</li> <li>・ボタンに布をつけることで、手に持った時の触覚刺激を得ることができ、また滑るのを防ぐようにした</li> <li>・あ行はピンク系というように、行で色を統一し、視覚的プロンプトを取り入れた</li> <li>・それにより、探しやすさが増し、成功体験につながるようにした</li> <li>・あいうえお表のみならず、いろは表を作ることで、高齢者にとってなじみ深いものになるよう工夫した。</li> </ul>
<b>使用方法</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・セラピストとゲーム感覚で文字を見つけ、並べる作業を行う</li> <li>・あいうえお表やいろは表を使ってボタンに書かれたひらがなを並べる</li> <li>・表とひらがなのセットをいくつか用意し、複数名で並べる時間を競う</li> <li>・二人で50音の中から、順番に交替しながらいくつ単語を見つけられるかを競う</li> </ul>
<b>良かった点</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・表面に少しザラザラした布を張り、持ちやすいようにボタン型にする事で、指尖の感覚が鈍くなっている人でも簡単につかむことができる。</li> <li>・使用者のアイデアで様々な使い方ができる</li> </ul>
<b>悪かった点</b>	『キツツキ』など、同じ文字を使う場合は作れない。



商品名:	カラフルホール
グループB:	
項目	内容
対象	認知症の方・手指の機能低下している方
材料	蒸し器・毛糸・ストロー(大小)・カラーシール・綿棒
費用	660円
作成のポイント	ストローと綿棒、シールを赤・青・白の3色に色分けすることで認識しやすくした。ストローや綿棒などの先端が鋭利でないものを使用することにより、怪我のリスクを減らすことができる。安くて身近なもので製作できる。穴の大きさが3種類あるため、難易度の調節が可能である。
使用方法	太いストローを一番外側の色分けされた穴に入れていく。真ん中の穴には、細めのストローを上記と同様に入れていく。一番内側の穴には色分けされた綿棒を上記と同様に入れていく。毛糸は一番外側の指定された穴に入れていく。
良かった点	費用も低予算で製作も簡単だった。難易度を分けることができる。一つの道具で2つの作業をすることができる。
悪かった点	マットがないため、滑りやすく、不快な音ができる。細い綿棒がはまり込んでしまう。

写真(使用前)



写真(使用時)





商品名: グループC	くるくる文字盤 [Redacted]
項目 対象	内容 5歳以上、半側空間無視
材料	ダンボール、画用紙、押しピン、のり、すべり止め
費用	500円以内
作成のポイント	目に優しい色を使った すべり止めを貼ることで机などの上に置いた際に 動かないようにした
使用方法	手を引っ掛けて回し、伝えたい文字を指差してもらう
良かった点	役割分担して治療道具を作成することができた 全員が積極的に行動できた
悪かった点	起き上がりが困難な人でも使いやすいように傾斜を 付けるなどの工夫が足りなかった。



商品名:	届けこの思い！私のひらがな！
グループD:	
項目 対象	内容 高次脳機能障害を有する方・発達障害など
材料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・A4リングファイル ＊1 ・ラベリング用紙</li> <li>・【あ】～【ん】のひらがなパーツ作成用プラバン</li> <li>・問題用紙＋ラミネート ＊適量枚数</li> <li>・ひらがなパーツ収納ポーチ</li> </ul>
費用	¥1,000以内とする。今回の費用は計¥825
作成のポイント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・完成した治療具が、対象疾患や年齢性別などを限定しない汎用性のある(使用用途や目的に広がりをもって進めて行く事ができる)治療具を目指した</li> <li>・今回の治療具作成が前期授業を通じて編成された現グループで最後の作成検討課題であった為、「OTらしさ」「グループDらしさ」「5名個々の個性」というオリジナリティを目指した</li> </ul>
使用方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・透明なプラバンに書かれたひらがなを、ファイルにラミネートされた問題用紙のお題に沿って並べる</li> <li>・「無地の上に並んだひらがな」から探す</li> <li>・「柄のある上に並んだ中」から探す</li> <li>・「問題に指定されたルールに合致」から探す</li> <li>・「裏返ったひらがな(鏡文字)」から探す 等</li> <li>・収納ポーチで「おかたづけ練習」 など</li> </ul>
良かった点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・収納かつ実施準備から評価までが、このA4ファイル内で完結されている為、持ち運びも簡単</li> <li>・対象者の状態や達成度に応じて、内容変更が可能</li> <li>・感情提示パーツ以外は文字が後書きのため、除光液などで書き換え可能</li> <li>・パーツの鋭利な角は男子メンバーが丁寧に丸く削り落としてくれたのでリスク対策も加味されている</li> </ul>
悪かった点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プラバンがどの程度まで縮むのか、トースター過程後にしか分からなかったため、角のそぎ落としに苦戦、時間を要してしまったこと(予め丸く切ってから焼くとひらがなサイズ感が想定不可だった)</li> </ul> <p>列挙すればまだまだ実用性には乏しいかもしれないが前期集大成として班員各々の個性が相乗効果をもたらし、率先して分担作業/連係プレイできた点に関しては誇りに思うし、感動を覚えた。この感情が臨床で生かせるよう、次は患者様とこのような気持ちが共有できるようなOTになれるよう励みたい</p>



商品名:	手指のリハビリ器具「ペグボード」	<p>写真(使用前)</p> 
グループE:		
項目	<b>内容</b>	
対象	脳卒中や脳性まひなどの方を対象	
材料	パンチングボード, 竹ひご, 角材(3個セット), OSBボード, 油性マジック(赤), 木工用ボンド, ノコギリ	
費用	700円位	
作成のポイント	<p>角材や木をのこぎり、カッターで切る際に手を切らないように気をつける。</p> <p>また穴を広げる際に使うドリルに手を挟んだりするリスクがあるので気をつける。</p>	
使用方法	ペグをさし別の場所へ移動させる	<p>写真(使用時)</p> 
良かった点	<p>手指のリハビリ器具「ペグボード」で患者さんがリハビリしている際に、中断する時に中に片付けることが出来る。コスパがいい。作成時間も短く簡単に作成可能</p>	
悪かった点	<p>穴の大きさが不揃いなのが気になる点です。</p> <p>また、やすりについても紙やすりなどで細かくやすりを使うほうがきれいにできるのかと思う。</p> <p>ペグの量も多くすべきであったなくしたときの予備用なども考えるべきでした。</p>	

<b>商品名:</b>	カラフルペポくん
<b>グループF:</b>	
<b>項目対象</b>	<b>内容</b> 主に小児全般
<b>材料</b>	炭酸ペットボトル500ml(1本)/ファスナー(1本)/シール (赤・青・白・黄・緑)/ポンポン(大・小)/はさみ /カッター/油性ペン/両面テープ
<b>費用</b>	270円/1個
<b>作成のポイント</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・キャップに貼ってあるシールとファスナーの色と中に入っているポンポンの色を統一した。</li> <li>・ペポくんの顔を自由に作成できる。</li> <li>・対象者によって様々な段階付けや治療内容の変更などが幅広くできる。</li> </ul>
<b>使用方法</b>	<p>《対象者の能力によって段階づけが可能》</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①自身で蓋を開ける</li> <li>②外に出されているポンポンを飲み口部分から1つずつ中に入れる</li> </ol>
<b>良かった点</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・低コストで作成可能。(100円均一で揃う)</li> <li>・使用時の危険がほぼない</li> <li>・見た目が可愛い</li> <li>・ポンポンの素材が柔らかくていい</li> <li>・色がカラフル</li> </ul>
<b>悪かった点</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・作成時、ペットボトルをカッターで切るのでケガをしないように注意が必要。</li> <li>・片付けや治療内容によってファスナーの開閉動作が必要になるので、ファスナーの接着位置に気を付ける。</li> <li>・治療中、ポンポンを誤飲しないように留意する。</li> </ul>

